

新春



「松川高校書道部の皆さんによる書き初め」
この作品は1月31日まで町民体育館ロビーで展示しています。

館報 まつかわ

平成24年 元旦
松川町公民館報 第579号



私たちのまだまだ知らない松川町を訪ねて

住民の絆でつくる峠地区

まだまだ町内の人達に知られていない場所が多いと感じていた時、文化祭で、峠地区の観陽丘から撮影された写真が多く展示されていました。テレビでも紹介された場所ですが、意外と詳しい事まで知られていません。今回は峠地区のいくつかの場所を地元の方に紹介していただきます。



観陽丘からみた松川町の眺め

夕陽の美しくみえる丘 観陽丘

夕陽が美しく見える場所です。平成11年度に信州サンセットポイント100選に選ばれています。地域の皆さんが手作りで整備しました。入口看板の書は当時の知事によるものです。取材で訪れた日は、山々に雪が積もっており、すばらしい眺めを堪能しました。



自分たちの手で公園準備をしている



入口の看板（村井仁前長野県知事の書）



飯田の方まで見渡すことができます

観陽丘から一山越えた標高1200m程に白諏神社本宮があります。地籍は大鹿ですが、大鹿側からは崖で登れない為、生田側から入っていきます。戦時中は、戦火から無事帰って来れるよう祈願して登る人が多く、川路や辰野辺りからも参拝に訪れていたそうです。

昔からの拠り所 白諏神社 本宮・前宮



地元の地域住民が中心となって整備運営をしています。よく整備されたコースなので生東地区のスポーツ大会でも使用されています。

地域住民の手で 整備している 峠マレットゴルフ場



前宮の峠神社

本宮から離れた峠地区に前宮の峠神社があります。白誼神社は秋の祭りは本宮で、春の祭りは前宮で行われています。峠神社の春祭りでは、舞台上で大鹿歌舞伎や映画会が行われていたそうです。現在で

なりました。本宮へは車でいけない為住民の皆さんが手伝い材料を運びました。石材屋さんには社務所に泊まり込んで修理をしたそうです。そして11月7日の秋の祭で完成披露されました。

本宮の社殿は老朽化や住民の高齢化によって、里へ移す案も出ましたが昨年7月に本宮の神社の最低限の修復を行う事



修復が行われた白誼神社（本宮）

地元では、休憩時に飲まれていた水で特別な物ではなかったが、お茶の先生によると飯田の名水に並ぶほどの良い水だそうです。

飯田の名水に並ぶ湧き水



峠神社にある舞台。大鹿歌舞伎や映画会が行われたりもした

も名古屋から参拝者が訪れ、こんな山奥に立派な神社があり訪れた甲斐があった、といった記帳が残されています。

今回紹介した場所以外にも地域の皆さんが先祖代々守ってきた場所があります。歴史

特に峠地区に魅力を感じ移り住んだ若者が、地域の活動に積極的に参加するお陰で、地区の皆さんの絆が深まったそう。夏場には、地域の草取り後に、観陽丘にて焼肉を行い親睦を深めています。



下沢司朗さん（右）

若者が地域の絆を深める

今回の峠地区の紹介にあたって、中峠の下沢司朗さんにお話を伺いました。

地域のつながりが大きい地区だからこそ、観陽丘のようなスポットや峠地区を紹介した本が生まれたと語ってくれました。

的に解明されていない部分が多いそうで、下沢さんからいろいろと仮説をお聞きして歴史に興味を沸いてきました。地域の方が、先祖代々の物を守るだけでなく、新しいスポットも生まれる地区：住んでいる方々の気持ちがあるまま表れている場所だと感じました。皆さんも出掛けてみてはいかががでしょうか。



作成したパンフレットと絵はがき

若者も集まる公民館

今年度公民館社会部では、「若者の公民館利用者を増やしていきたい」と、成人式実行委員会や松川高校の皆さんと関わりを持ちながら、新たな活動の展開をしてきました。今回はそのいくつかをご紹介します。

②地域お助け隊プロジェクト(10/21)



高いところの暗幕張りや、展示ボードの運搬など、毎年文化祭の準備は大変。そこで今回は松川高校の皆さんがそのお手伝いをしてくださいました。

- 若者プロジェクトの一環として、松川高校（書道部と美術部）と公民館社会部が共同企画
- 町の文化協会の高齢化等から、高いところの暗幕張りや展示ボードの運搬など、文化祭の準備が困難になってきていることへの対策案として考えた。
- いつもよりずっとはやく準備することができた。

①成人式タイムマシン(8月)



公民館のロビーに展示。成人式実行委員会と社会部が話し合いながら展示をした。

- 若者プロジェクトの一環として、成人式実行委員会と公民館社会部が共同企画
- 成人式の記念の写真を平成23年から昭和37年までさかのぼっていけるようロビーに展示した。
- 子どもからお年寄りまで、自分の家族や友人を探そうと盛り上がった。
- 成人式当日(8/15)には、式典会場で展示をした。

③デザインプロジェクト(8月～)



- 若者プロジェクトの一環として、松川高校美術部と公民館社会部が共同企画
- 松川高校教員住宅の壁面（約30m）に絵をかく
- この企画には、松川高校美術部の「町民の憩いの場の一つとしたい」という願いが込められている
- 壁面のある場所は、小学生の通学路としても使われている
- 松川高校で花いっぱい運動をしている場所でもある
- 現在も文化協会所属のやまなみ美術会の皆さんと一緒に活動をすすめている

ま つ か わ

なかよしの標語

人権旬間で作った東小小学校
全校児童の標語です

2じ休み
みんなともだち
おにごっこ

1年 えんどう 雨り

みんながね
たのしいじかん
すこすんだ

1年 し水 わか

ちゃばさんも
こけこっここと
いっしょにわらう

1年 下さわ あい

まい日ね
みんななかよし
すてきだね

1年 はしば かすみ

友だちも
明るいえ顔
すてきだね

3年 加賀田 穂

「ありがとう」
友だちにいわれ
うれしいな

3年 清水 乙音

友だちと
いっしょに帰る
また明日

3年 松下 陽佳

えがおでね
みんな元気だ
東小

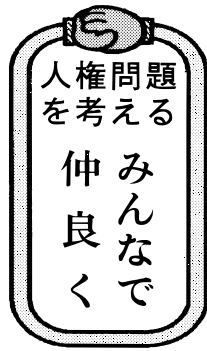
4年 遠藤久流美

みんなでね
なかよく遊ぶ
東小

4年 大森 吉記

友だちを
だいにしよう
いつまでも

4年 清水 響介



思いやる
言葉づかいや
こうどうで

4年 橋場 瑤子

悪口は
やさしくないよ
やめようね

4年 本塩 亮太

まもりたい
つよいきずなを
ほくたちで

4年 松下 晃

仲よしは
笑顔の花を
咲かせるよ

5年 市岡 麗奈

仲良しは
えいえんに続く
宝物

5年 橋場 和樹

みんなでね
仲よく遊ぼう
休み時間

6年 遠藤あんり

私ガね
笑顔でいると
みな笑顔

6年 大栗 知華

「仲よくね。」
みんな友だち
仲よしだ

6年 下澤 史華

みんなでね
仲良く楽しく
すごそうよ

6年 橋場 萌

心の手
みんなでつなごう
輪になって

6年 本塩 竜哉

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その四

昨年度より行っている松川
プログラムの中には野菜やき
のこの栽培や収穫を体験して
いただく「栽培体験」という講
座があります。その中から今回
と次号にかけて「そば」の栽培
活動について紹介しましょう。
猛暑の中の種まき



私たちが栽培するそばは秋
そばの「信濃1号」という品
種です。今年は8月6日に種
まきを行いました。その日は
曇りだったので、真夏の太陽
に照り付けられることはなかつ
たのですが、6名の子どもと
16名の大人が3度を越す暑さ
の中で、汗びっしょりになつ
て種をまきました。まず、大
人が畝(うね)を
作り、そ
こに子ど
もたちが
種をま
き、また
大人が土
をかぶせ
るといった工程で仕事は進み
ました。みんなの頑張り種
まきは午前中に終わりました。
午後はみんなでバウムクー

ヘンを作つて食べ方をねぎらつ
たのですが、その最中に恵み
の雨が降ってきました。その
おかげでしょうか。数日後に
は畑にぎっしりとそばの芽が
揃いました。

がんばつた刈り取り



その後、苗は順調に育ち、
種まきからほぼ1ヶ月後の9
月9日には満開の白い花がハッ
クの青空に映えとてもきれい
でした。そばは雑草よりも成
長が速いので、種まきからほ
ぼ70日が
過ぎた10
月23日に
はもう刈
り取りが
できまし
た。36名
の方が参
加してく
ださり、主に小学生が鎌を使つ
てそばを刈り、お母さんたちが
束ね、幼稚園や保育園児がそれ
を運び、お父さんがはざへかけ
るといっようにみんなで力を
合わせて行いました。約3aの
そば畑なのでとても大変な作
業だったのですが、みんなが
ばり午前中で収穫作業を終え
ることができました。いよいよ
待ちに待ったそば打ちですが
それは次号で。

冬は身体を動かし ポカポカスポーツ

平成23年度飯伊三バスケ ボール松川優勝大会

12月4日(日)松川中学校、中央小学校体育館ほかを会場に、飯伊地区の小学生男女が低学年、高学年の各部門に別れ試合が行われました。松川チームの結果は次のとおりです。

〈低学年男子〉

第3位 出場5チーム
準優勝 出場6チーム

〈高学年男子〉

準優勝 出場7チーム
準優勝 出場8チーム

〈高学年女子〉

準優勝 出場8チーム

松川町男女別ダブルス バドミントン大会

12月11日(日)松川町民体育館を会場に同大会が行われ、男子20チーム、女子21チームが出場し熱戦をくり広げました。結果は次のとおりです。

〈男子の部Aブロック〉

優勝 中島伸・北林宏太
(体協B C)

準優勝 中島和希・山田和浩
(フットワーク)

第3位 設楽幹人・佐々木章吾
(フットワーク)

〈男子の部Bブロック〉

優勝 松下東宜・広沢年彦
(福与B C)

準優勝 菅沼直樹・仲田雄太
(福与B C)

第3位 横田和芳・片桐陽一
(上片桐B C)

〈男子の部Cブロック〉

優勝 中島和人・林宗広
(ジョイフルB C)

準優勝 北島義雄・大沢楨哉
(上片桐B C)

第3位 岡本誠也・小池久男
(上片桐B C)

〈女子の部Aブロック〉

優勝 宮崎真理子・坂本紅音
(上片桐B C)

準優勝 山口 優・林 暁
(福与B C)

第3位 松上 霞・林 意里
(松川ジュニアB C)

〈女子の部Bブロック〉

優勝 松下佳代・清水菜芳
(福与B C)

準優勝 北沢真希・鈴木愛子
(ジョイフルB C)

第3位 北沢紗南・須甲麻里名
(松川ジュニアB C)

〈女子の部Cブロック〉

優勝 山岸佐貴子・林 美奈子
(上片桐B C)

準優勝 城子絵里・佐藤千佳
(上片桐B C)

第3位 山岸貴奈・湯沢花菜子
(松川ジュニアB C)

第41回MTV杯

12月18日(日)松川町民体育館を会場に、男子4チーム、女子4チームが出場し、バレーボールの試合が行われました。結果は次のとおりです。

〈男子の部〉

優勝 YAMAMOTO
JAPAN

準優勝 はるとくん

〈女子の部〉

優勝 高森B

準優勝 J A



ありがとうございます

施設の一言受付の日程がわかるようにと、宗源原の加藤静昭さんが案内板をつくってくださいました。心より感謝申し上げます。

公民館の窓口に設置させていただきましたのでぜひご覧ください。

【施設の一言受付】

公民館や体育館を利用される方の施設の日程調整をするために毎月はじめにおこなっている調整会議

①原則毎月1日、午前7時45分から中央公民館でありません。

②1日が日曜日や祝祭日の場合には、2日におこないます。(2日も祝祭日の場合は3日)

③1日が水曜日の場合は、役場でおこないます。

④1月は4日におこないます。(12月29日から1月3日まで休館日のため)



▲加藤静昭さんがつくってくださった案内板



秋の叙勲 瑞宝双光章

鋤柄郁夫さん(宮坂)

宮坂の鋤柄郁夫さん(74歳)は、平成23年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

鋤柄さんは、昭和35年に信州大学教育学部を卒業後、38年間にわたって教職を勤め、飯田東中学校の校長を最後に退職されました。



また退職後も我が松川町公民館の館長や、松川町教育長に就任されるなど、子どもから大人までに関わる教育の現場で活躍されました。今回の受章は、そのような長きに渡り教育の道一筋に取り組んでこられた功績が認められたものです。

は、現在も続く「まつかわ大学」を発足。また教育長の時には、学校・家庭・地域の教育の輪である「エデュリンク」を立ち上げ、松川町の教育の向上に努められました。その他「家族読書」を推進し、教養のみならず、家庭の輪、人と人とのつながりも大切にされてきました。

そんな鋤柄さんが大切にされているものの一つが「俳句」です。俳句は教職時代から子どもたちにも広め、心の教育にも心がけてきました。

最後に、鋤柄さんご自身が詠まれた俳句から、お気に入りの一句をどうぞ

天仰ぐ 蛙の喉の 波打り



秋の叙勲 瑞宝単光章

川原 茂さん(名子中部)

名子中部の川原茂さん(59歳)は、平成23年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。



生まれで、28歳の時に飯田市の丸井工業に就職し、手に職をつけたいとクレーンオペレーター。国家資格を取得しました。様々な現場を行き来する中、30年間無事故でクレーンオペレーターの仕事をこなしてこられました。その功績が認められ、クレーン協会、国土交通省からも表彰を受けており、今回、国土交通省からの推薦で受章されました。

川原さん自身、「まさか自分が受章するとは」と驚きの様子でしたが家族からも「夢のようだ」と言ってもらえ、みんなに喜んでいただけただようです。

クレーンは、コンピューター化が進み操作しやすくなっているが最後の微妙な調節は手が覚えている感覚が一番大事になると、30年間無事故で務めあげた経験を語ってくださいました。

今年で定年を迎える川原さんですが、初心を忘れずに仕事に取り組んでいきたいと話をしていただきました。

こころの詩

友だち

中央小 5年 新田千枝

友だち
いつも一緒にの友だち

笑つ
泣く
怒る
悲しむ

一人じゃできない事
友だちとなら一緒にできる
かけがえのない友だち

いつも感じてる。
友だちの

「ありがたさ」
「やさしさ」
そして、
友だちという「幸せ」

みんなでイエイ

中央小 5年 植田隆太郎

「イエイ」
みんなで仲間と
ハイタッチ。
これをするこ
みんなが仲良し
きずなが生まれる。

「イエイ」

うれしい時
がんばった時
何かを成しとげた時
みんな仲間と
ハイタッチ。

きつと
いい気持ちに
なれるはず。

短歌

夫の筆

桃澤幹子(諏訪形)

チャボ檜葉にふわり降り立つ青鷺を
鶴と重ねてしばし見ほれぬ

田の水はぬるま湯のごと補植する
老いの素足も経やかに動く

バット背負いペダルこぎゆく少年に
柿の若葉も光をかえす

茄子南瓜私も元気と亡夫宛に
恋文を書く今日三回忌

「千曲川旅情の詩」は夫の筆
額に納めて在りし日偲ぶ

俳句

絆

西澤清子(中荒町)

明日へと続く初日のここかしこ

駆け抜ける絆たすきの襷去年今年

原発の是非や荒地のねじれ花

とこしえに遺影の笑みや桃熟るる

復興へ列島見守る初御空



視点 まちの石仏 ⑪ 「甲子様」(中山)

甲子信仰の主神「大黒天」の像。丸彫り像は町内でも非常にめずらしい。



お正月

時代は変わり、お正月の過ごし方も多種多様。家族との時間も少なくなってきたかもしれません。昔からの風習やならわしを通して、家族で過ごすお正月をもう一度考えてみては？

除夜の鐘

大みそかの夜に諸寺でつく鐘。人が持つという百八煩惱を取り除くために108点鐘をつき鳴らす。



門松

新年を迎える際、年神様が降りてくる時の目印。



初詣

正月に初めて社寺に参詣すること。昔は除夜の鐘を聞きながら神社に出かけ、寝ないで新年を迎えるのが習わしだった。



しめ飾り

しめ縄を張って家を清め、年神様を迎える。



お年玉

年神様から新年にさずかる「新しい魂」が語源。お供え餅を子どもたちに分けたのが始まりだという。



このように一つ一つの事柄に深い意味があることがよくわかります。先人達は自分や家族だけでなく、人々すべてが幸多い年になるようにと願っていたのでしょうか。今年一年が皆様にとって良い一年でありますように。

2022年

12月の寒波が到来した日、飯田の友人の家に届け物をしようとして出かけました。友人の家は標高の高い場所にあります。友人からは雪は少し積もっているが道は大丈夫とのこと。天気は悪くなっていきましたが市内まで来たからと上っていききました！しかし吹雪き出し別世界。不安になりつつなんとかたどり着き戻って来ることができました。無茶はやめようと思いましたが、私はたださえ運転が下手で、家も町内の中では比較的暖かい所なので雪道にも慣れていません。上片桐や上大島は、全然積雪量が違うよと知人もよく言います。土地柄、坂道が多く、私の苦手な雪道での坂道発進はとても困ってしまいます。

雪はなるべく降ってほしくないので車がなくては生活できない地域。事故を起こしてからは遅いし、まわりの人にも迷惑をかけてしまいます。これ位なら大丈夫と思わないように慎重に安全運転を心掛けていかなければいけないと改めて感じました。

宮崎亜希子

公民館報
「まつかわ」
第 579 号
平成24年1月15日

発行者 松川町公民館 登部
責任者 矢澤 編集部
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)